

NPO法人 龍ヶ崎ゲヴァントハウス 特別企画
講演会とコンサート
2つのプロコフィエフ “交響曲第6番”
～秘められた戦争の悲惨さと平和への願い～

毎年恒例となっております「特別企画」の2017年第2回目は元 NHKの音楽プロデューサー、NHK交響楽団演奏企画部長としてご活躍された、竹森道夫氏をお招きし、「二つの“プロコフィエフ・交響曲第6番”～秘められた戦争の悲惨さと平和への願い～」と題して特別講演会とCDコンサートを行います。

今回のプログラムで取り上げられるロシアの作曲家プロコフィエフ（1891～1953）の交響曲第6番は、1947年に作曲された作品で、旧ソビエト時代スターリンが行った大粛清（大規模な政治弾圧）、さらにナチス・ドイツ軍がソビエト領内に侵攻して勃発した「独ソ戦争」（1941年）の時代を生き抜いた作曲者の悲惨な戦争体験が反映されていると言われています。この年に生まれた竹森さんは、東側の崩壊をロシアやドイツで目の当たりにしており、交響曲第6番に表れる戦争への不安と恐怖は肌に突き刺さるとのことです。同時に音楽が過去の体験を後世に伝え、平和へのメッセージとなることの確信を得たと仰っています。今回の講演では、この第6番の背景と価値について熱く語ります。講演と合わせてNHK交響楽団が演奏したゲルギエフとデュトアという2人の名指揮者による名演奏をご紹介します。交響曲第6番の魅力に迫って行きます。ご期待ください。

日 時：2017年6月17日（土）午後2時00分～午後4時30分（休憩10分）
場 所：龍ヶ崎シヨッピングセンター「リブラ竜ヶ崎」2階旧映画館
講 師：竹森道夫氏（元NHK音楽プロデューサー、NHK交響楽団演奏企画部長）
テーマ：「二つの“プロコフィエフ・交響曲第6番”」
～秘められた戦争の悲惨さと平和への願い～

《竹森道夫氏・略歴》

1947年広島生まれ。1971年NHK入局、「音楽の広場」、「名曲アルバム」、「芸術劇場」、「NHK特集」等のディレクター、番組デスク・プロデューサー。1989年バイエルン州立歌劇場の「ニーベルングの指輪」、「ザルツブルク音楽祭」、「ウィーン・フィルのニューイヤーコンサート」、「マリンスキー歌劇場」等のハイビジョン国際共同制作プロデューサー。1994年からNHK交響楽団演奏企画部長。2001年NHK退職後、東京都交響楽団演奏制作部長を経てその後、サントリーホール・シニアプロデューサー、浜松市アクトシティ音楽院音楽監督などを務め、2011年5月からNPO法人「日本の道」スタッフとして、岩手県最大の被災地のひとつ大槌町で音楽を軸にした支援と交流を行い、2013年エル・システムジャパン大槌が発足。一般社団法人「槌音」の理事として子供達の音楽指導をサポートする傍ら、鹿児島県の「霧島国際音楽祭」事務局長を努めている。またチーフ・プロデューサー時代にはロシアのサンクトペテルブルクにキーロフオペラの取材に行った折りに、ヴァレリー・ゲルギエフ氏と出会い、NHKの放送がきっかけとなり、当時ほとんど無名だったゲルギエフという天才指揮者が西側諸国に紹介されることとなった。その後国際的な活躍を続ける多忙なゲルギエフ氏も来日すると竹森氏の自邸を尋ねると言う関係を築いている。

曲 目

ボロディン：歌劇「イーゴリ公」～ダツタン人の踊り

ヴァレリー・ゲルギエフ指揮キーロフ歌劇場管弦楽団（1993.11 NHK509スタジオ録音）

プロコフィエフ：交響曲第6番変ホ短調op111 から 第1楽章 アレグロ・モデラート

シャルル・デュトア指揮NHK交響楽団（1998 ウィーンでのスタジオ録音）

（休憩10分）

プロコフィエフ：交響曲第6番変ホ短調op111 全曲

第1楽章 アレグロ・モデラート 第2楽章 ラルゴ 第3楽章 ヴィヴァーチェ

ヴァレリー・ゲルギエフ指揮NHK交響楽団（1996.7.19 サントリーホールでのライブ録音）

プロコフィエフ：ヘブライの主題による序曲op.34 ヴァルター・ブイケンズ合奏団

★ホームページアドレス <http://www.bekkoame.ne.jp/~hippo/gewandhaus/>